

図書館通信 — 30 —

1975. 2

かしわ・いのぶた・やまくじら

大橋 淳

日本人の食生活に畜産物がとり入れられたのは明治以後のことであり、畜産食品が食生活に密着して来たのは第二次世界大戦終結後であると言っても過言ではない程、日本人の食生活と畜産物との関係は疎遠でした。その為、畜産物の生産源となる家畜家禽の飼養、改良は欧米に比べ遅れている点が多かったのですが、愛玩觀賞用としての家畜家禽に対しては高度な改良が施こされ、特に尾長鶏やチャボなどの鶏類にその成果がみられます。

古来、鶏は「かけ」、「にわとり」と言われましたが、いつの頃からか「かしわ」とも呼ばれるようになりました。「かしわ」の呼称は天の岩戸において刻を告げた鶏が「かしわ」種であったとの説に依りますが、或る地方ではその鶏は「東天紅」と言い、或る処では「薩摩鶏」の一種であるとも称していることを考えますと、「かしわ」種説が必ずしも正論とは思えません。この岩戸伝説は古代日本人が生活の中で鶏を利用していたことと、日本鶏の発生が古いことを教えてくれます。「かしわ」「東天紅」「薩摩鶏」は長尾・長鳴性で、体型も近似し、成立年代も古いと考えられているなど多くの共通点があります。

日本鶏の発生については大陸渡来説と南海渡来説が考えられているけれど、渡来年代や品種について不明な点も多く、未だ決定的な発生説はみられません。近年発掘された多くの貝塚や遺跡から出土した鶏の頭骨や肢骨が地鶏に類似することから、古代日本に棲息した鶏は地鶏系統の鶏であろうと考えられています。最も古い鶏種と思われる「小国」は遣唐使によって輸入され、日本鶏成立の基礎となっています。「蜀鶏」や「柏」もこの時代に輸入されたとの説もあります。「年中行事絵巻」や「鳥獣戯画」に描かれている鶏の体型や羽装には現代の「小国」とよく似た処があります。この時代の養鶏は卜占、斗鶏、報晨などが主な目的で、一部では食用を目的とした養鶏も行なわれていたと考えられます。外国人の往来が頻繁となった安土・桃山時代には新たな外国の鶏が輸入されたと思います。徳川時代初期には「チャボ」、「シャモ」なども輸入され、日本鶏作出の素地が整いました。宗紫石の「雨中軍鶏図」、狩野山樂や伊藤若沖の「群鶏図」など、多くの絵画から往時の日本鶏を知ることができます。しかし、明治以降の先進文化の導入と産業養鶏の

も く じ

かしわ・いのぶた・やまくじら 大橋 淳	1
大英博物館の「読書室」 杉山忠平	3
教官著作寄贈図書 一本 館	3
国外への 文献複写依頼について 参考調査係	4
旧制静岡高等学校関係 資料目録	5
世界の目録：その後	6
おしらせ	6
人事異動	6

発展は数多い日本鶏の存続を危うくし、僅かに愛鶏家の下で天然記念物として飼育されている現状です。

明治時代以後に発展した畜産は新家畜として家豚を我が国に定着させ、養豚を興えました。日本に家豚が渡来したのは戦国時代に長崎にやって来た中国人によること宮崎安貞の農業全書に述べられていますが、それ以前の日本には家豚の棲息は認められないと言うのが通説です。近年、発掘された貝塚や遺跡から出土した獣骨の中には猪骨や鹿骨が多く発見されるけれど家豚の骨は発見できなかったと報告されています。現代狩猟において野猪が格好の標的であるように古代にあっては猪は格好の獲物であり、重要な食糧であったことと思えます。しかし、有名な天武天皇の「肉食禁止令」や仏教思想の普及は我が国の食生活から肉食の慣習を圧迫し、更に、徳川綱吉の発した「生類憐みの令」は肉食禁制を一層厳しく統制し、遂に日本人の食生活から獣肉を隔絶してしまいました。このような禁制の中で人々は肉を食べる方便として肉の名前を変えて呼んでいました。鶏肉を「かしわ」、猪肉を「やまくじら」などと言い表向きは禁制を破っていないこととしていました。現在の鶏肉は「かしわ」と呼ぶには、余りにも貧弱な肉質だと思えますが、猪肉は「やまくじら」と言うにふさわしい感触があります。「やまくじら」は滋味に富み、食べれば身体が温まると言って珍重していますが、色赤く、や、臭味もあって人々の嗜好に適合する肉とは言えないかもしれません。

猪が豚の先祖であることは定説となっていますが、野猪と家豚が容易に交配することをみますと両者間の血縁に隔りを感じないことさえあります。家豚（パークシャー種）の雌に野猪の雄を交配して生産した仔畜は全部が野猪に似て、背中に縞模様があります。この縞を「鰻状線」と言います。野猪や野猪と家豚の雑種の中の野猪型の仔畜には殆んど鰻状線がみられます。そして、鰻状線をもった幼畜を人々は「うり坊」とか「うりん坊」と呼んでいます。この条斑もやがて二・三ヶ月もすれば消え、暗灰褐色となり、山の暴れん坊としての威容を備えます。野猪と家豚の雑種やその子孫を「いのぶた」と呼んでいます。「いのぶた」も二代・三代目になりますと、形質の分離がおこり野猪型、豚型の性状を現わすものが生まれて来ます。一般に、野猪の肋骨は13対、乳頭は5対ですが、家豚では肋骨14～16対、乳頭6～8対で品種により変異がみられます。「いのぶた」一代目では乳頭5対のものが多く、二代目では6対のもの

が現われ、概して不揃いのものが多くなります。更に、戻し交配をした結果、「いのぶた」が雌の時には乳頭数10～12個、家豚が雌の時には12～15個と、雌の形質に近い変異がみられました。一般的に嗜好性の劣る「やまくじら」も「いのぶた」に変えますと、肉質は豚肉に近くなり、臭味も減り、嗜好性も向上します。しかし、交雑が二代・三代と重なりますと、生産される仔畜の中に虚弱なものや、畸型なものや、出現が多くなり、しかも、発育速度も遅いことなどから、現状の「いのぶた」は経済性を強調する現代畜産においては受け入れられないだろうと思います。

「いのぶた」の生産にあたって興味をもった問題の一つは尻尾の形状でした。普通、豚の絵を描く時、クルッと巻いた尻尾を付けますが、猪の絵に間違いなく尻尾を描き加えることができるでしょうか。牛や馬にくらべれば貧弱で、豚にくらべれば粗野な尻尾を臀部に垂れ下けているのが猪です。「いのぶた」一代目では全部垂れ尾ですが、交雑が重なるに従って豚型の巻き尾も現われます。古来、無用のように考えられる尻尾は、個体の健康や活力を判断する重要な部位です。家畜の尻尾に弾力がなく、艶の悪いのは不健康な証拠です。家畜審査の項目に尾があげられているのも、尻尾が個体の性状と関係あることを考慮してのことと考えられます。尻尾は又、個体の微妙な感情変化を表現します。負け犬が「尻尾を捲き」、追従する犬は「尻尾を振って」行くように、尻尾は身体や感情の変化と無関係ではありません。又、尻尾は体の中で最も無防備な処であり、種類の特徴を示す部分でもあります。ふさふさした馬の尻尾、巻き上った豚の尻尾など、尻尾には動物固有の形があります。美女に化けた狐も「尻尾を出した」ばかりに看破られてしまうのです。尻尾のない筈の人が尻尾を出したり、尻尾を掴まれて恐れ入るのは、人にも尻尾のある証拠だろうか。尻尾が動物固有の形を示すならば、無い処に生えてくる人の尻尾に、人の本性が表わされていると考えるのは無謀だろうか。いつまでも尻尾の生えない人でありたいと願いながら筆をおくことにします。

(農学部助手 家畜飼育学)

■教官著作寄贈図書 ——本館——

杉山忠平(教育学部)

理性と革命の時代に生きて —J・ブリース
トリ伝—

(岩波新書 昭和49)

梅沢トシ(教養部)

舞踊カリキュラム 日本教育舞踊研究所編

(編者 1974)

大英博物館の「読書室」

杉山 忠平

大英博物館付設の「読書室」という名の国立図書館については、すでに何度も書く機会があった。比較的目にふれやすいところでも、『原色世界の美術』（小学館）や『社会科学大辞典』（鹿島出版）に書いたし、そのほかにも書いている。いままた、ここでおなじ題目について書くのは気が重い。

それについてやや詳細に書いたのは、東京のある大学のゼミナール雑誌(*unter den linden*, Nr. 3, 1961)が最初だった。指導教授がしばらく訪欧することになり、るす中の代行をわたしの旧師でもあるその指導教授から依頼され、毎週1回でかけていった当時のことで、いわば客員のわたしも学生の要望で寄稿したのだ。

本当の指導教授と代行のわたしとは、人間的にも学問的にも深淺の差がありすぎるので、目ごろの不備を多少とも補う気持ちもあって、かなりの熱意をこめて書いたのだった。それだけに、他大学のゼミナールの学生たちだけでなく、ひろく静岡大学の学生諸君にも披露し、それがかれらの好學心をそそる一助にでもなればと考へ、またヨリ大きなスペースをあたえられもして、おなじ文章に大幅な加筆をした上で『産業と科学』（静岡大学法経学会, 8, 1961)に掲載した。これが第2回である。

その後イギリスについて折にふれて書いてきた専門外の文章を編集して『イギリスの[国・イギリスの人]』（未來社, 1967, 第3刷, 1970)という本をだすことになったとき、「ブリティッシュ・ミュージアム図書館」と題するその文章も収録した。ただし、その後の2度目の滞英経験にもとづいて、そこでは9ページにおよぶ「追記」が書きそえてある。これが第3回である。

最近の『静大だより』にも書いたように、さきごろの短い訪英のさいに、わたしはこの本がイギリスを訪れる日本の一部研究者たちのあいだで、かなり読まれているらしいことを知って一驚したのだが、もしかすると、音にきく大英博物館の「読書室」を一見し、あるいはそこで研究するための手びきとして、とりわけその文章が目あてで、この本が読まれているのかもしれない。

もしそうだとすると、わたしにとって、それは望外の幸ではある。それというのも、その文章に

わたしはそれほど実際の役だちなどを期待していなかったからである。もともとその文章に期待したのは、前述のように、たんに勉強へのいぎない、または勉強ずきな人へのいわば一涼風である。この本はもう書店の店頭にはなくても、むろん注文すれば入手できようし、それに、何よりも本学図書館で読むことができる。一読をえたいとおもう。

情操枯渴したのか、いまではとてもあれを書く気はしない。当時書いておいてよかったとおもう。けれども、いま一読をすすめるには、こんどの訪英で知ったことをここでつけ加えておかねばならない。その本には「今世紀後半にみこまれる蔵書数の増加だけのためにも、いまの図書館はあまりにも手ぜまである。あたらしい敷地にあたらしい図書館をつくる計画はすでに日程にのぼっている」(p.99)と書かれている。だが新図書館はまだ実現をみていない。また、当初予定地は大英博物館のむかいがわ一带とされていたが、地価の推移のためか、いまやその計画は放棄され、現在地から東北方へ直線距離で1マイルほどの地点にあるキングズ・クロス駅のさらにさきのあたりが予定されるようになったということである。

よく知られるとおり、大英博物館(British Museum)は、頭文字をとって、BMと通称される。しかし読書家にとっては、BMは、BMそのものよりは、むしろBMの「読書室」にほかならない。そればかりではない。これもその本に書いてある(p.97)とおり、歴史的にも、「読書室」の起源こそBM自体の起源だったのである。ところが、予定地への移転をまつことなしに、「読書室」は大英博物館から制度的に切斷され、大英図書館と改称された。BMの正面のフェンスには“British Museum”と“British Library”との二つの表示が掲げられていたのである。

「世界の図書館中の図書館、全世界の……読書家のメッカ」(同書, p. 69)として、創設らしい200年余にわたって愛称されてきた“BM”の名は、いまや惜しげもなく、“BL”にきりかえられてしまったわけである。

(教育学部教授 経済学)

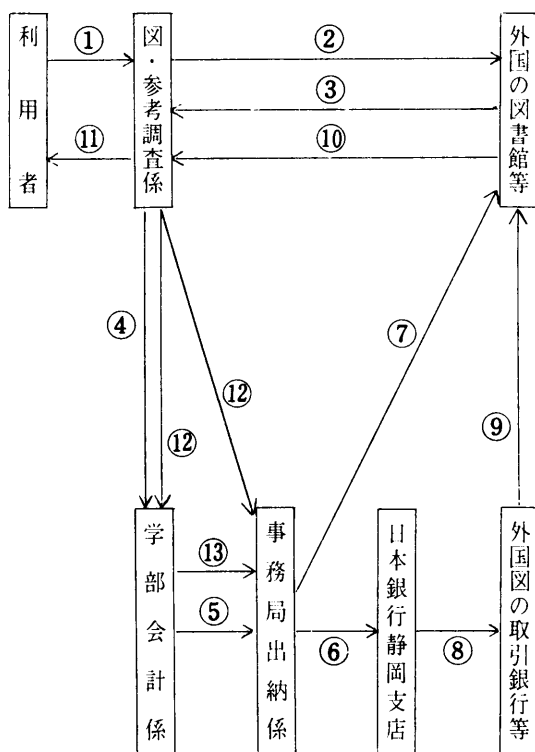


国外への文献複写依頼について

参考調査係 (内線 276)

従来研究者の間から、国内では入手できない文献を国外の図書館等から公費で取りよせて欲しいとの要望がよせられ、昨年度来種々検討してきましたが、本年度から参考調査係が窓口になって実験的に要望に応ずることに致しました。事務処理の流れ図とともに若干の留意点・問題点などをご紹介致します。

予算決算及び会計令第57条による前金払の流れ図



コピー入手の現況 これまでに国費支払によりコピーを入手した主な図書館の状況は別表の通りです。係ではなるだけ後払の可能な図書館を撰択して依頼を出しますが、前払の場合、会計年度内にコピー到着の見込がたたないものは、12月末で受付を締切ります。雑誌論文は問題なく複写可能ですが、著作権法で保護された単行本の全ページ複写には著者の署名する承諾書を必要とするので更に日数を必要とします。文献の所蔵館を調査する資料として、図書館では英・米・仏の各国の代表的な蔵書目録を継続購入中ですが、ドイツの目録や各国の雑誌の所在目録も逐次整備してゆき迅速かつ能率的にご要望に応えたいと考えています。(P.6 世界の目録：その後を参照)

なお、外国の文献の入手方法や貸借などに関しては、参考調査係にお気軽にご相談下さい。

- ① 相互貸借・複写依頼
- ② 同上申込
- ③ インボイス到着
- ④ 申込書状並インボイス2通に日本訳をつけ送付
- ⑤ インボイス2通及負担行為書を送付
- ⑥ 送金手続
- ⑦ インボイス1通を同封し送金手続完了の旨連絡
- ⑧ 送金
- ⑨ 入金通知
- ⑩ 製品送付
- ⑪ 製品引渡
- ⑫ 製品到着の旨連絡
- ⑬ 精算行為

別表 入手した主な図書館の概況

図書館名	国名	支払	基本料金	単価	所要日数
議会図書館	アメリカ	前払	3ドル	0.25ドル	2ヶ月
ニューヨーク公共図書館	〃	〃	〃	〃	2.5ヶ月
ウィスコンシン大学図書館	〃	後払	〃	0.15ドル	3週間
ペンシルバニア大学図書館	〃	〃	0.5ドル	〃
シカゴ大学図書館	〃	〃	0.18ドル	〃
ドイツ図書館	西ドイツ	〃	0.25マルク	2週間
ボン大学図書館	〃	〃	0.20マルク	2ヶ月
オーストリア国立図書館	オーストリア	〃	2.50シリング	2週間
チューリッヒ中央図書館	スイス	〃	0.3フラン	〃
国立図書館	フランス	前払	1.9フラン	3ヶ月

旧制静岡高等学校関係資料目録

- ※静岡高等学校一覧 大正13年4月—昭和17年
3月 18冊 大正13—昭和16
静岡高等学校概要 昭和10—15年度
天覧品目録 昭和5年5月29日
22p 25cm
静高寮史
昭和7年10月
静高寮史—抜粋—(第2次)
昭和13年9月
静岡高等学校同窓会
会員名簿 昭和4—12年度
旧制静高同窓会
旧制静高同窓会名簿 昭和39年2月
- ※静岡高等学校同窓会
会員名簿 昭和32年11月
416p 19cm
付：静岡大学文理学部教官並卒業生名簿
旧制高等学校物語 第10 富士ばら 静高篇
東京 財界評論社 昭和40
22cm
- ※地のさざめごと—旧制静岡高等学校戦没者遺稿
集—旧制静高戦没者遺稿集編集委員会編
旧制静岡高等学校戦没者慰霊事業実行委員会
発行 昭和41
427p 22cm
静高史年表 (p. 323—385)
戦没者名簿 (p. 389—415)
- ふるさとの文学 静岡
東京 文京書店 昭和49
(高杉一郎氏が「静高出身の作家たち」を
執筆)
- 仰魂—故川澄通夫君追悼録—
川澄考次郎・上屋連秀編 昭和23年1月刊
小倉正大追想集—一筋の道
(弟)宏平氏発行 昭和26年9月
学校新聞 昭和7年6—7月
静岡自治学生会補助機関紙
がりあ 昭和5(?)—10
静高ふらんす会
逆襲 昭和7年9—10月
非合法自治学生会秘密新聞
のち静高学生新聞と改題
仰秀 第1—27号
静高仰秀寮文化部
静高寮誌 大正15年2月創刊
仰秀寮報

- 静高嶺南会会報 昭和7—8年
白蓉 白蓉会(静岡テニス部)
※校友会雑誌 第1—34号
静高校友会文芸部 大正13—昭和15
※くたかけ 第1—5号
静岡高等学校文芸部 昭和20—22
以後「人間像」と改題
南風 第1—4号
南風会(昭和9年文内卒のクラス会)
無逸会報 昭和25年8月創刊
旧制静高剣道部
※人間像 第6—7号
静岡高等学校文芸部 昭和22—23
「くたかけ」の改題 巻次を継承
先駆者 昭和7年6—7月
静岡自治学生会秘密機関紙
青竜
静岡青竜会(福原竜蔵教授の指導生の会)
昭和11年7月
紫岳
静岡高等学校紫岳会(静岡旅行部)
静高学生新聞
逆襲を改題
静高剣友会誌
静岡高等学校剣友会
静高寮誌
寄宿寮図書部
昭和2年12月創刊
静高新聞 昭和7年10月
※東瀛 第1—6号
静岡高等学校報(旧刊) 昭和16—18
※会報 昭和15年12月
静岡高等学校同窓会
竜爪(東京静岡同窓会会報) 昭和38年創刊
※静高理科会彙報 第1巻
静高理科会 昭和11 (白筆稿本)
(※印は本館所蔵)
この目録作成については教養部藤本教官の御協
力を得ました。
- ◆ ◆
- 静高理科会彙報 第1巻 執筆者一覽
1936年6月19日 日食観測彙報
財部通之輔 堀純郎 篠原博 内山龍雄
長船広衛 松田尚雄 中村林二郎
個人研究報告
財部通之輔 中村林二郎 堀純雄 石川晴治
東條英 入江春彦 山口健男
地下水調査委員会第一次調査報告
松田尚雄 藤安勝次 瀬川晃 堀純郎

世界の目録：その後

昭和45年度以来本館が各国のユニオンカタログの整備につとめて来たことは、既に図書館通信第8号(1971・3)で紹介済であるが、その後の増加を含めてまとめると下記の通りである。

アメリカ・カナダ

- ①National Union Catalog pre 1956 Imprints. 継続購入中。

アメリカ・カナダの700館の総合目録。現在第34巻まで到着。AからLudwigまでの図書と雑誌の所蔵が確かめられる。

- ②National Union Catalog 1956 Through 1970. 126 vols. 同上の続編。

イギリス

- ③British Museum General Catalogue of Printed Books to 1955. 27 vols.; Ten Year Supplement 1956—1965. 5 vols.; Five Year Supplement 1966—1970. 20 vols. 大英博物館の蔵書目録。

- ④London Bibliography of Social Sciences. 21 vols.

現在はBritish Library of Political and Economic Scienceの蔵書目録の形をとっており、1968年までカバーする。人文法経で購入、図書館備。

- ⑤British Union Catalogue of Periodicals. 4 vols.

英国内の440館で所蔵する逐次刊行物約14,000点を収録する。Supplement 1950—60及び、New Periodic Titlesも発注中。

フランス

- ⑥Catalogue Général des Livres Imprimés 1897—1960.

フランス国立図書館の目録で、現在第209巻まで到着、継続購入中。AからVille de Travernayまで検索できる。

◎購入を待たれる目録類

- ⑦National Union Catalog 1968 Through 1972. 128 vols.

上記①②の続編に当るもの、購入価約64万円。

- ⑧New Serial Titles 1950—1970. 4 vols.

アメリカ・カナダの800館以上の図書館で所蔵する1950年以降に出版された逐次刊行物約26万点

を収録。購入価約7万円。

- ⑨London Bibliography of the Social Sciences vols. 22—28. 7 vols.

上記④のSeventh Supplementに当る。約10万項目を収録。

- ⑩Catalogue Générale des Livres Imprimés; auteurs, collectivités-auteurs, anonymes 1960—1964. 12 vols. 上記⑥の続編。

- ⑪Deutsche Bibliographie. 1945—

5年ごとの累積版が1970年まで刊行中で、ドイツの全出版物及びオーストリア、スイス、その他の国のドイツ語出版物を網羅する。これに収録されたもののほとんどはフランクフルトのDeutsche Bibliothekで入手できる。

おしらせ (本館)

- (1) 春季休暇中の長期図書貸出について

1. 貸出冊数 4冊まで

(うち指定図書は2冊まで)

2. 貸出日 2月27日(木)～3月1日(土)

3. 申込期限 2月24日(火)まで

4. 申込要領

① 窓口③番に用意してある所定の申込用紙を用いて下さい。

② 申込用紙には必ず指導教官、またはこれにかわるべき教官の捺印を受けて下さい。

③ 但し、卒業見込者及び工学部3年進級者には貸出しません。

5. 返却期限 始業日から3日以内

なお、長期貸出準備のため2月20日(木)～26日(水)の間、通常貸出を停止します。

- (2) 春季休暇中の休館について

3月22日(土)～31日(月)の間、閲覧室整備の為、休館します。

■ 人事異動 (本館)

※配置換 古川純子(50-1-1付、総務←運用)

※新採用 ①塚本雅美(50-1-1付、運用)

②真野みち子(50-2-1付、運用)

※退職 山崎恵子(50-1-31付)